

### 4 - 3 東海地方の微小地震の分布 (1979年5月11日～10月31日) Distribution of Microearthquakes in Tokai District (May 11, 1979-October 31, 1979)

名古屋大学理学部  
School of Science, Nagoya University

前報<sup>1)</sup>にひき続いて1979年5月11日より10月31日まで約6ヶ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

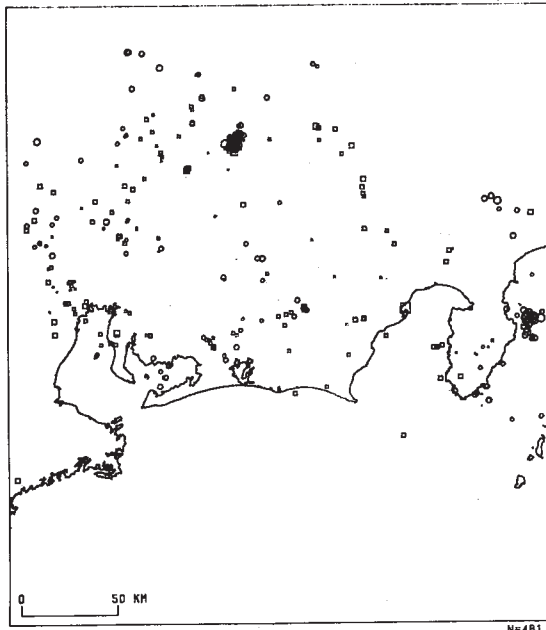
第1図は1979年5月11日より7月31日までの82日間、第2図は1979年8月1日より10月31日までの3ヶ月間に、名古屋大学理学部の地震観測テレメータ網によって観測された微小地震の震央を深さ別に示したものである。

この期間における地震活動等の主な特徴を以下に述べる。

- (1) 御岳南部における群発地震は7月前半までは前報の期間にひきつづいてほぼ定常的な活動をしてきたが、7月下旬頃よりやや活動が低下した。10月中旬からは特に北部活動域での地震活動は著しく低くなり、10月28日の御岳山噴火に到っている。噴火時には御岳山頂付近に発生した地震および微動が山頂より約30 km離れた付知観測点において観測された。第3図は、これら群発地震の活動の時間変化を図のAB - CD方向にプロットしたもので、期間は1978年5月1日より1979年11月5日までのものである。噴火後は再び定常的な地震活動が見られた。
- (2) 静岡県西部および駿河湾周辺地域には特に目立った活動は無く、伊豆半島においてもこの6ヶ月間は比較的平静であった。
- (3) その他、檜ヶ岳付近に地震活動が見られ、また10月下旬に阿寺断層に沿った付知付近に微小地震が観測された。

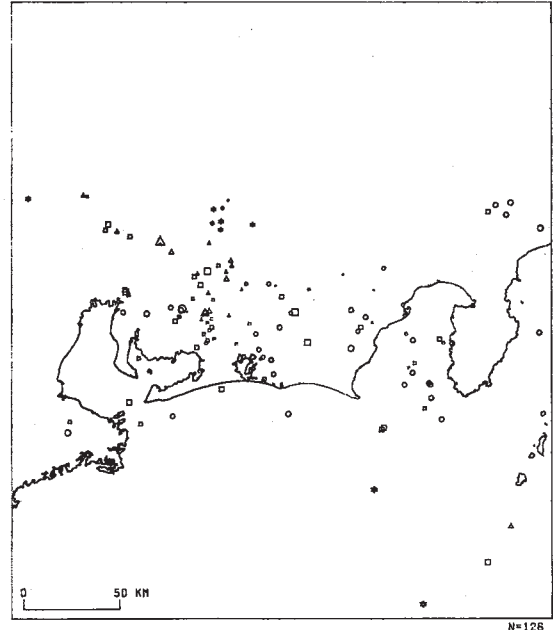
#### 参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部：東海地方の微小地震の分布 (1978年11月11日～1979年5月10日), 連絡会報, **22** (1979), 155 - 156。



DEPTH 0 10 20 (KM)      MAG. 1 2 3 4  
 ○ □      • ○ ○ ○

MAY 11 - JUL 31 1979



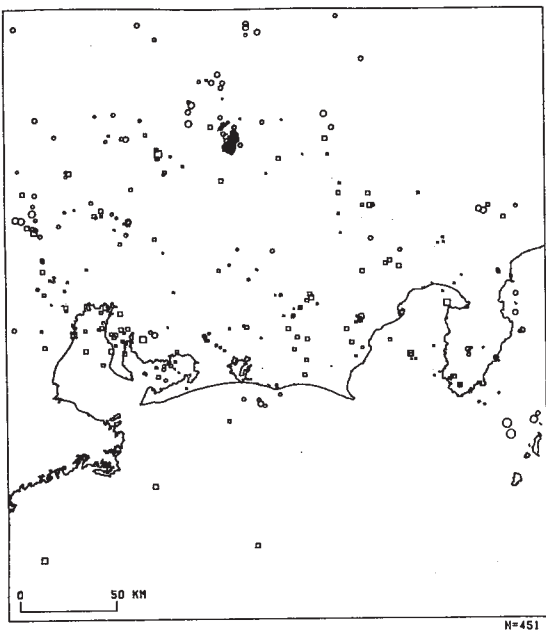
DEPTH 20 30 40 50 80 (KM)      MAG. 1 2 3 4  
 ○ □ △ ☆      • ○ ○ ○

MAY 11 - JUL 31 1979

第1図 微小地震の分布 (1979年5月11日~7月31日)

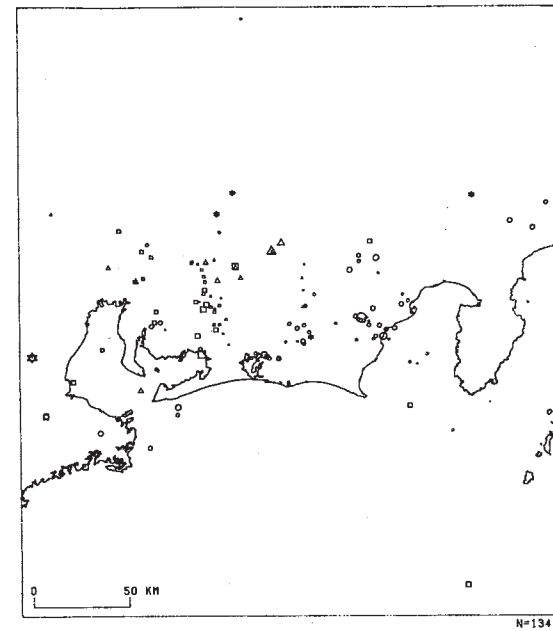
(NAGOYA UNIV)

Fig. 1 Epicenter distribution of earthquakes (May 11, 1979 - July 31, 1979).



DEPTH 0 10 20 (KM)      MAG. 1 2 3 4  
 ○ □      • ○ ○ ○

AUG 1 - OCT 31 1979

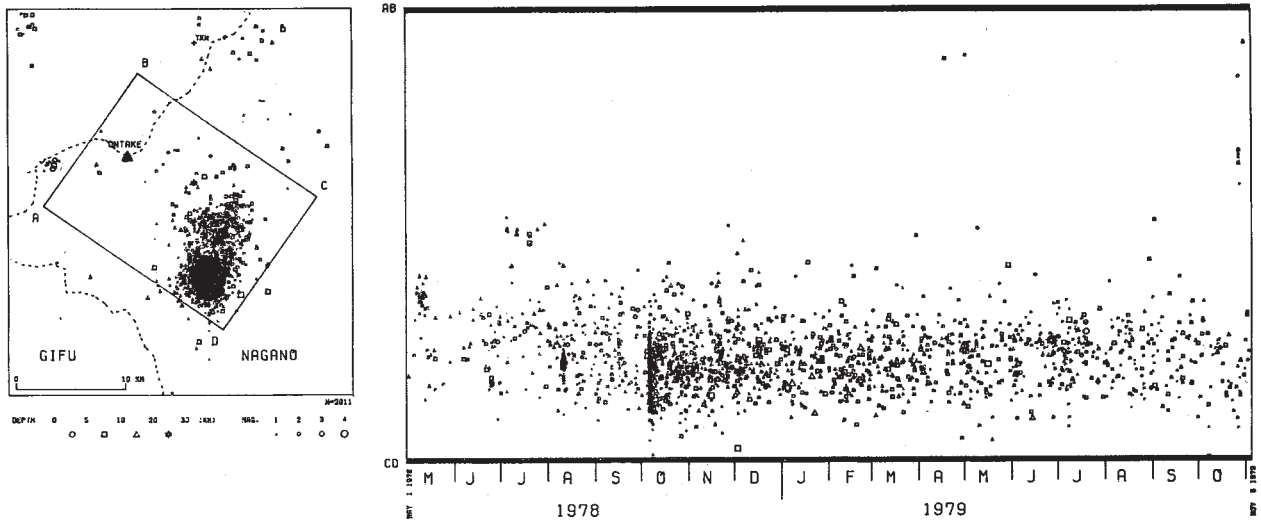


DEPTH 20 30 40 50 80 (KM)      MAG. 1 2 3 4  
 ○ □ △ ☆      • ○ ○ ○

(Nagoya Univ)

第2図 微小地震の分布 (1979年8月1日~10月31日)

Fig. 2 Epicenter distribution of earthquakes (Aug. 1, 1979 - Oct. 31, 1979).



第3図 地震活動の時空変化（1978年5月1日～1979年11月5日）

Fig. 3 Spatial and temporal variation in seismicity (May 1, 1978 - Nov. 5, 1979).